

子供たちのため学校と地域の橋渡し 地域ぐるみのキャリア教育の実現！

静岡県三島市

活動名

錦田中学校支援地域本部

関係する学校

錦田中学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の笑顔参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	コーディネーター	子供の笑顔参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	コミュニティスクール	実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携		
		指定日			委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要・経緯

平成21年度に自治会・PTA・子供会・保護司・民生委員児童委員・公民館などの関係者で実行委員会が組織され、活動を開始した。学校からの要望事項を協議し、コーディネーター及び実行委員が地域の人々との橋渡し役を担い、協力を依頼している。三島市では、本学校支援地域本部の活動が評価され、本学校支援地域本部をモデルとして、全小中学校へ1校1本部体制による学校支援地域本部の立ち上げを予定している。

この事業を開始するに当たり、地域と連携したキャリア教育を展開したいとの学校の要望があったため、地域と連携したキャリア教育の実現を活動の中心に据えている。さらに、キャリア教育の支援にとどまらず、朝の読み聞かせ活動、学校内外の環境整備活動、あいさつ運動及び交通安全指導の地域ボランティアとの実施、配慮を要する生徒への学習支援活動等に取組を広げた。

地域全体が学校の状況を知り、学校に関わり支援することを通して、地域の中の学校を盛り立てていくと共に、地域の将来を担う子供たちの健全な成長を地域ぐるみで見守り、「地域の子どもは地域で育てる」意識の醸成を図ることを活動の目標としており、その成果が地域に浸透してきている。

特徴

【特徴的な活動内容】

○地域と連携したキャリア教育の実現

学区内での2年生職場体験学習実施のために実行委員会が事業所・店舗への依頼活動を行い、独自に学区内で34の事業所・店舗での職場体験学習の実現につなげている。また、1年生を対象にした職業講話を地域の職業人に依頼し、例年12名程の講師の参加につなげている。この結果、生徒が働くことの意義について学び、将来の職業生活の心構えをもつとともに、社会人としての生き方や望ましい職業観の基礎を身に付けるための大きな支援となっている。また、生徒が地域の大人との関わりをもつきっかけとなっており、これを機会に地域の大人が生徒を見守り声掛けをしていく地域づくりにもつながっている。

【実施に当たっての工夫】

○ボランティア団体との連携

生徒への朝の読み聞かせ活動の実施に当たり、市発行の「広報みしま」を視覚障害者に朗読、録音して届ける活動をしているボランティアグループ「やまなみ」に活動を依頼した。この結果、生徒には読み聞かせの効果が出るだけでなく、ボランティア活動への関心も高まる結果となっている。

○行動する実行委員会

実行委員会は、学校支援の方針等の企画、立案を行うことだけでなく、直接地域の人々への説明・依頼、ボランティアへの参加・活動状況確認等を行っている。その結果、コーディネーターにかかる負担を軽減するとともに、学校の教育活動への理解を深めた方のボランティア参加につながっている。



地域の職業人による職業講話

事業を実施して

コーディネーター及び実行委員が持つ幅広いネットワークを生かして、地域住民を学校支援活動につなげることによって、生徒の豊かな学びが実現されている。キャリア教育（職場体験学習の依頼・職業講話の講師依頼）では、地域住民の利を生かした支援を行うことによって、教員が生徒への指導に専念できる体制づくりが整えられ、負担軽減につながっている。また、学校支援ボランティアによる花壇整備、樹木せん定、学校設備修繕の活動により学校環境が良好に保たれている。

実行委員からは、改めて地域の人たちの生徒たちに対する熱意の深さに驚いたという感想があり、教師や保護者だけではできないことを地域と学校とが連携し、実行していくために活動していきたいとの思いを強めている。ボランティア参加者も生徒との関わりを楽しんでいる。

その他

「学校と生徒とともに歩むトライアングルサポート」をキャッチフレーズに、本学校支援地域本部とPTA活動と平成25年度に活動を開始した錦田中サポーターズクラブ（PTA及びOBの有志の会）の協力連携体制を確立させている。



地域ボランティアによる校庭の樹木せん定作業